

～秋の心地よさを味わいながら、楽しく過ごしています～



暑かった夏も終わり、少しずつ涼しくて過ごしやすい日が増えてきました。最近心地良い気候の中、散歩でこまつの杜や等覚寺の原っぱなどへ出かけたり、園庭で好きな遊びを存分に楽しんだりして過ごしています。戸外遊びの中で特に子どもたちが楽しんでいる遊びを紹介します。

園庭やこまつの杜へ散歩に出かけると、「かくれんぼしよう～！」の声から、かくれんぼが始まります。友だちや保育者と同じ場所に隠れることや、鬼になって皆を見つけることなどを楽しんでいます。何度も繰り返し遊んでいるうちに、ハウスの中や看板の後ろ、木の陰など色んな隠れ場所を発見して、さらに遊びが広がっている姿があります。



1, 2, 3...



うんてい



園庭にあるうんていは今遊びのブームになっています。最初の頃はうんていにぶら下がる・着地することを頑張っていました。そこから何度も繰り返しぶら下がっているうちに、前に進もうと手を伸ばしている姿も見られ、少しずつ進める距離を伸ばしてきています。頑張っている姿を十分に認め、自信が持てると良いなと思っています。

生き物・自然物探し

戸外に出ると、夏の時期には見られなかった生き物や自然物たちが姿を現してきました。トンボを見つけ、トンボの飛ぶ方へ追いかけていく子もいれば、「こうしたらトンボとまるかな？」と手を伸ばす子もいます。また、こまつの杜でどんぐりを見つけ、たくさん拾うことを楽しんだり、大きさや形の違いに気づき保育者に知らせることを喜んだりする姿もあります。そんな自然の中で、子どもたちは日々様々な発見を楽しんでいます。

これからも子どもたちの気づきや発見を受け止めていき、たくさんの秋の生き物や自然物に触れながら、興味を深めていけたら良いと思っています。



そーっと、そーっと...♡



どんぐりみつけた！



どんぐりころころ～♪

こまつの杜でたくさん拾ったどんぐりをお部屋でも出して遊んでいます。どんぐりを見ると、「転がしたい…」と思ってしまう保育者の気持ちもあり、まずは机を斜めにしたものをお部屋に設定しました。それを見て子どもたちも、すぐにどんぐりを転がすという考えになったようで、どんぐりを転がしては拾いを繰り返しながら遊ぶ姿がありました。どんぐりは転がすだけではなく、紙コップにたっぷり入れ、「はい、ジュースどうぞ♡」とジュースに見立てて遊ぶ姿もあります。

どんぐりがお部屋の遊びの一つとして仲間入りし、毎日様々な遊びを楽しんでいます。まだまだどんぐりを使った遊びが広がっていきそうな予感がしています。子どもたちの遊びに目を向けていきながら、どんぐり遊びを楽しんでいきたいです。



ころころ～♪

